

公益財団法人セゾン文化財団

セゾン・アーティスト・イン・レジデンス、セゾン AIR パートナーシップ来日者の紹介

2018年度のセゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、ミュンヘンの舞台芸術フェスティバル、RODEOのレジデンシー・プログラム「Bloom Up Residency」との交流事業の一環として、ミュンヘンとベルリンを拠点に活動するパフォーマンス・コレクティブ、THE AGENCY をお迎えします。

THE AGENCY は現代社会におけるネオリベリズムの戦略や手法に関心を持ち、現代のフェミニズムやクィアの視点から作品を創作。ブランディングやキャンペーン、コーチング等を批判的に取り入れ、観客とより親密な関係性をつくるイマーシブ・パフォーマンス(没入／体験型パフォーマンス)を発表しています。最新作、『Perfect Romance』(2018)では、西洋社会で誕生した「ロマンティック・ラブ」の規範やイデオロギーをテーマに、エージェンシー(代理店)として観客をクライアントやカスタマーに見立て、運命の瞬間を追体験するサービスを提供する作品を発表しました。



THE AGENCY

セゾン・アーティスト・イン・レジデンスでは、新作、『Take it like a man - an alternative contemporary men's movement』(男なら男らしくしろ - 現代の新しい男性運動)の構想を発展させるため、草食男子や絶食系男子、ジェンダーレス男子等、日本における新しい男性のあり方や男性運動をリサーチします。

滞在期間中、日本の舞台芸術の状況や背景、魅力などを発見していただくため、多くの舞台芸術関係者と交流していただきます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- 滞在期間 2018年6月1日(金)-6月18日(月) 予定
*6月6日(水)19時から森下スタジオでパブリック・トークを開催予定
- 滞場所 森下スタジオ (東京都江東区森下 3-5-6)
- 滞在目的 日本における新しい男性のあり方や男性運動のリサーチ
🌸 平成30年度文化庁「アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業」

プロフィール THE AGENCY

2015年、設立。Magdalena Emmerig、Belle Santos、Rahel Spöhrer、Yana Thönniesの4人を中心メンバーとして活動。これまでに美術家のナイル・ケティングや振付家・ダンサーのジェレミー・ネッドがプロジェクトに参加している。

「100° Berlin Festival 2015」で審査員賞を受賞した『better trigger(『ASMR Yourself』に改題)』を、HAU(ベルリン)やPACT ツォルフェアライン、ミュンヘン・カンマーシュピールで発表。2017年、バーゼルの舞台芸術フェスティバル、Treibstoff Theatertage Baselで『Medusa Bionic Rise』を発表し、2018年、ミュンヘン・カンマーシュピールで『Perfect Romance』を発表した。主に演出を担当するヤナ・トネスは昨年、セゾン文化財団のヴィジティング・フェローで来日した。

